

# 学生の本県就職促進

## 県が 首都圏大学と連携 クラブ設立

【東京支社】県は16日、県外に進学した学生らの本県へのU・イターン就職を支援する「岩手U・イターンクラブ」の発足式を都内で行った。首都圏を中心とした49大学が加盟し、本県の就職情報の提供などを通して地域活性化を図る。



発足を記念して記念撮影する岩手U・イターンクラブの加盟大学の担当者ら

加盟大学約30校と県関係者が出席。達増知事が本県の働く場の状況や東日本大震災後のインフラ整備状況などを紹介し「地方が主役になる日本の姿を岩手から実現したい。若者の自己表現の場として選ばれるよう頑張っていく」と述べた。加盟大学には県産木材で作った会員証を贈呈した。

専修大の佐々木重人学長は「若者がU・イターンする際に不安を感じる点は、自分に適した仕事があるかどうかということ。学生時代に岩手の情報を提供しておくことが今後、重要になる」と指摘した。参加者は記念撮影などで交流を深めた。

県は加盟大学へ県内の就職情報を提供し、就職イベントの開催支援や出前講座の開催などを進める。大学は学生へ本県の就職情報を積極的に提供するほか、本県の情報揭示スペース確保

やインターンシップ支援などに取り組む。大東文化大の青木幹喜・副学長は「岩手の良さを伝え、学生とのマッチングがうまくいくことを期待する」と語った。